

教育研究業績				
2025 年 5 月 1 日				
氏名			張森	
研究分野			学位	
経営学			博士（商学）	
研究のキーワード				
組織行動論、人的資源管理、倫理的組織行動、ダイバーシティマネジメント、イノベーション				
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項				
事項		年月日		概 要
1 教育方法の実践例				
2 作成した教科書，教材				
3 教育上の能力に関する大学等の評価				
4 実務の経験を有する者についての特記事項				
5 その他				
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項		年月日		概 要
1 資格，免許				
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書，学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所，発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
1. プロアクティブ行動の先行要因と結果に関する研究のレビュー(査読付)	単著	R3.3.1	商学研究科紀要第92号	心理学や組織行動論の領域において、プロアクティブ行動の先行要因と結果を検討する研究が散見されるが、個別の問題意識に注目する文献が多く、最近プロアクティブ行動の研究潮流がわからないというのが現状である。そこで、本稿は2014年から2020年7月までのプロアクティブ行動の研究をレビューし、近年の研究焦点と結論の総括を試みた。さらに、整理した文献で明確しなかった問題を基に、今後の課題と研究方向を提出した。
2. Orchestrating Innovation: Diversity of Team Characteristics in the Symphony of New Product Development (査読付)	共著	R6.7.1	International Journal of Innovation Management, 28(3-4), 2450016.	本研究は、新製品開発(NPD)チームの年齢多様性が企業のイノベーション能力にどのように影響するかを明らかにするものである。情報・意思決定理論と類似性・カテゴリー化理論という二つの理論的視点をを用いて、NPD チームの年齢多様性がイノベーション能力に与える影響についての異なる知見を統合する。日本酒業界のデータセット(21,370 件のデータ)を用いて分析を行った結果、全ての仮説が支持された。この研究は、NPD チームの年齢多様性マネジメントに関する重要な示唆を提供した。

3. A Fault Confessed is Half Redressed: The Impact of Deviant Workplace Behavior on Proactive Behavior (査読付)	共著	R6.7.1	Administrative Sciences,14(7), 141.	従来の職場逸脱行動研究は主に「被害者中心」の視点から結果を検討し、行為者の心理的・行動的反応を無視してきた。本研究は道徳的浄化理論に基づき「加害者中心」の視点を採用し、職場逸脱行動後に従業員が道徳的欠損を経験し、その結果主体的行動につながると主張する。また、この間接的関係は個人の道徳的勇気によりモデレートされると提案する。英国での実験研究と米国での複数時点調査によりこれらの仮説が支持された。本研究は職場逸脱行動がいかにして、またいつ補償的行動につながるかを示し、理論的貢献と実務的示唆を提供する。
4. How Does Employee Voice Influence Empowering Leadership? The Effects of Voice Tactics and Gender (査読付)	共著	R6.8.1	Asian Journal of Social Psychology, 27(4), 827-843.	本研究は従業員の理性的および感情的な voice 行動がリーダーのエンパワーリーダーシップに与える影響を明らかにした。シグナリング理論と役割ベースのフォロワーシップ理論に基づき、従業員の voice 行動の戦術に注目した。理性的な voice 行動が感情的なものより、部下の主動性についてのリーダーの帰属を高め、エンパワメントリーダーシップを導きやすいと仮説を立てた。さらに、期待違反理論に基づき、この効果が特に女性部下の場合に顕著であると予測した。日本とイギリスでシナリオベースの実験を行った結果、全ての仮説が支持された。
5. Team Familiarity, Task Familiarity, and Quality Competition: Evidence from Japanese Sake Brewing (査読付)	共著	R7.1.1	Journal of Wine Economics, 20(1), 49-67.	この研究は 1956 年から 2018 年までの日本酒業界における醸造チームと品質競争結果の縦断的データを分析し、チーム馴染みと作業馴染みが優れた酒造りに与える影響を検証するものである。日本酒生産はすべての段階でチームワークを必要とするが、長期間一緒に働くチームもあれば、人員の入れ替わりが激しいチームもある。結果として、チーム馴染みと作業馴染みの両方の増加は品質優位性と負の関連があることが示された。
6. Managerial Voice Endorsement of Subordinate's Coalition Voice Tactics: The Moderating Role of Performance History (査読付)	単著	R4.12.1	2022 Academy of International Business Asia Pacific Regional Conference Proceedings	部下の連携型の voice 行動とそれに対する上司の支持との関係性について実証的に検討した。
7. How Does Employee Voice Influence Empowering Leadership? The Roles of Voice Tactics and Gender (査読付)	共著	2023 年 8 月	Academy of Management Annual Meeting Proceedings	従業員の voice 行動と性別がエンパワリング・リーダーシップに与える影響について分析した。
8. From Beneficial to Harmful: The Effects of Voice Endorsement on Employee's Cyberloafing (査読付)	共著	2023 年 12 月	2023 Academy of International Business Asia Pacific Regional Conference Proceedings	リーダーが従業員の voice 行動に支持を示すことが、従業員の私的なインターネット利用(サイバーローフィング)を増加させる可能性について実証的に検討した。
9. Endorsement of High Performers' Voice: The Role of Voice Tactic and Supervisor's Power Motivation (査読付)	単著	2024年 8月	Academy of Management Annual Meeting Proceedings	高業績者の voice 行動が、どのような状況下においてリーダーの支持を得られなくなるのかについて分析した。
10. Team Familiarity, Task Familiarity, and Product Innovation: Evidence from Japanese Sake Brewing (査読付)	共著	2024年 8月	Academy of Management Annual Meeting Proceedings	日本酒のデータベースを用いて、チーム馴染みと作業馴染みがチームパフォーマンスに与える影響を検討した。
11. The Prohibitive Voice Dilemma: When Direct Prohibitive Voice Backfires and How LMX Saves It? (査読付)	共著	R6.12.1	2024 Academy of International Business Asia Pacific Regional Conference Proceedings	部下による直接的な prohibitive voice に対するリーダーの反応について検討した。
12. Building Bridges or Barriers? The Role of Community Culture in Online Knowledge Sharing (査読付)	共著	2024年 12月	2024 Academy of International Business Asia Pacific Regional Conference Proceedings	オンラインコミュニティの文化的特性が参加者の知識共有意欲にどのように影響を与えるかについて検討した。

13. Friend or Foe: How Online Community Culture Shapes Knowledge Sharing Through Psychological Safety (査読付)	共著	2025年 7月	Academy of Management Annual Meeting Proceedings	オンラインコミュニティの文化的特性が参加者の知識共有意欲にどのように影響を与えるかについて検討した。
14. Gender Shapes Observers' Responses to Coworkers' Unethical Pro- Organizational Behavior (査読付)	共著	2025年 7月	Academy of Management Annual Meeting Proceedings	同僚による非倫理的な向社会行動に対する反応における性差について考察した。
15. Fostering knowledge exchange in online communities: A cultural and psychological approach (査読付)	共著	2025年 9月	British Academy of Management 2025 Conference Proceedings	オンラインコミュニティの文化的特性が参加者の知識共有意欲にどのように影響を与えるかについて検討した。
(その他)				
1. 日本における部下の「Voice 行動」の直接性とリーダーのパフォーマンス評価の関係について- 帰属理論と LMX 理論の視点から (大会優秀賞)	単著	2021年 9月	経営行動科学学会第24回年次大会	帰属理論と LMX 理論に着目し、部下の voice 行動の直接性とリーダーのパフォーマンス評価の関係を報告した。
2. The Determinants of Supervisors' Empowering Behaviors in Japan: The Role of Voice Tactics and Gender (査読付)	共著	2022年 10月	The 38th Euro-Asia Management Studies Association (EAMSA) Annual Conference	従業員の voice 行動と性別がエンパワリング・リーダーシップに与える影響について分析した。
3. When and How a High Performer's Voice Links to Less Endorsement: The Effects of Coalition Voice and Supervisor's Power Motivation (Ph.D. Award) (査読付)	単著	2023年 11月	The 39th Euro-Asia Management Studies Association Annual Conference	高業績者の voice 行動が、どのような状況下においてリーダーの支持を得られなくなるのかについて分析した。
4. A Fault Confessed is Half Redressed: The Impact of Deviant Workplace Behavior on Proactive Behavior (査読付)	共著	2024年 5月	Journal of Management Studies Workshop- Japan 2024	従業員の職場逸脱行動がその後の従業員のプロアクティブ行動に及ぼす影響について報告した。
5. Unfamiliar Paths to Excellence: The Role of Team and Task Familiarity in Sake Brewing Innovation	共著	2024年 9月	2025年度組織学会年次大会 Special International Research Session	日本酒のデータベースを用いて、チーム馴染みと作業馴染みがチームパフォーマンスに与える影響を検討した。
6. Beyond Good Intentions: Investigating the Negative Consequences of Direct Prohibitive Voice (査読付)	共著	2025年 5月	The 22nd European Congress of Work and Organisational Psychology	部下による直接的なprohibitive voiceに対するリーダーの反応について検討した。
7. オンラインコミュニティにおける知識共有行動の促進要因に関する体系的考察	共著	2025年 9月	産業組織心理学会第40回大会	オンラインコミュニティの文化的特性が参加者の知識共有意欲に与える影響についての文献をレビューした。
8. Examining managerial responses to direct prohibitive voice	共著	2025年 9月	産業組織心理学会第40回大会	部下による直接的なprohibitive voiceに対するリーダーの反応について検討した。